

# 鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

令和5年11月17日(金)  
鳥取県生活環境部衛生環境研究所

## 令和5年第40週から第43週までの患者報告の状況

### 1 報告の多い疾病(インフルエンザ/COVID-19 定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数)

今回(40週～43週)4週 (R5.10.2～R5.10.29)	前回(36週～39週)4週 (R5.9.4～R5.10.1)	前々回(32週～35週)4週 (R5.8.7～R5.9.3)
1 インフルエンザ (1,500) [↑925]	1 新型コロナウイルス感染症 (1,409)	1 新型コロナウイルス感染症 (2,422)
2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (519) [↑210]	2 インフルエンザ (575)	2 感染性胃腸炎 (247)
3 新型コロナウイルス感染症 (437) [↓972]	3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (309)	3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (208)
4 感染性胃腸炎 (271) [↑36]	4 感染性胃腸炎 (235)	4 インフルエンザ (193)
5 手足口病 (130) [↓83]	5 手足口病 (213)	5 手足口病 (187)
6 その他 (105) [↓55]	6 その他 (160)	6 その他 (273)
(合計 2,962)	(合計 2,901)	(合計 3,530)

※[ ]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

### 2 前回との比較増減

全体の報告数は2,962件であり、2%(61件)の増となった。

増加した疾病	減少した疾病
インフルエンザ 161%	RSウイルス感染症 73%
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 68%	新型コロナウイルス感染症 69%
感染性胃腸炎 15%	ヘルパンギーナ 59%
	手足口病 39%

### 3 コメント

- ・インフルエンザが増加しており、県内全域にインフルエンザ警報を発令しました。例年より流行が早まっており、さらなる流行の拡大に注意が必要です。  
新型コロナウイルス感染症は、今夏の流行は概ね収束となりましたが、冬シーズンの再流行に注意が必要です。いずれも、手洗い、換気、場面に応じたマスク着用などの感染防止対策や、ワクチン接種の検討をお願いします。
- ・咽頭痛や発熱など体調が悪い場合や陽性が判明した場合は自宅で安静に過ごし、症状に応じて医療機関を受診される際は、事前に電話相談の上、受診しましょう。
- ・県内全域にA群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報を発令しています。手洗い、消毒等の感染予防をお願いします。
- ・西部地区において、重症熱性血小板減少症候群、東部地区において日本紅斑熱が確認されています。いずれも病原体を保有するダニに刺されることで感染します。野山等に入るときは、長袖、長ズボンの着用、ダニ忌避剤の使用などの予防対策をとることが必要です。
- ・梅毒が増加しており、注意が必要です。本年は10月末時点で昨年1年間の15件を上回る26件の感染が報告されています。早期発見と適切な治療が必要です。感染の不安があるときは、早めに医療機関や保健所で検査を受けましょう。

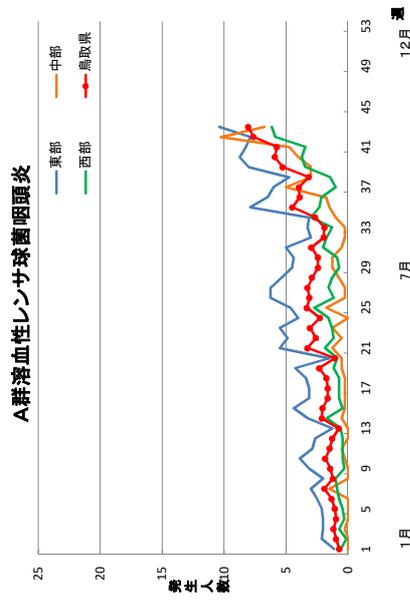
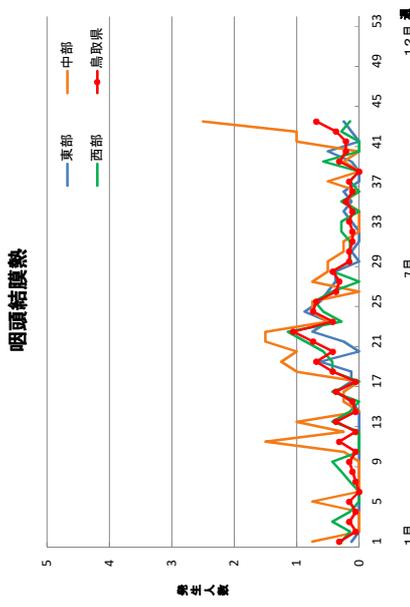
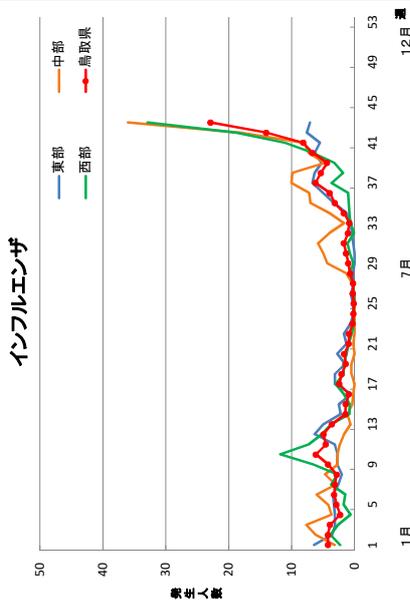
# 令和5年第40週～第43週の報告患者数

令和5年11月8日 作成

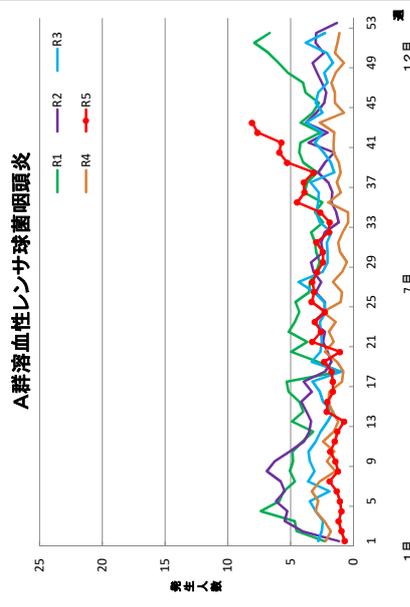
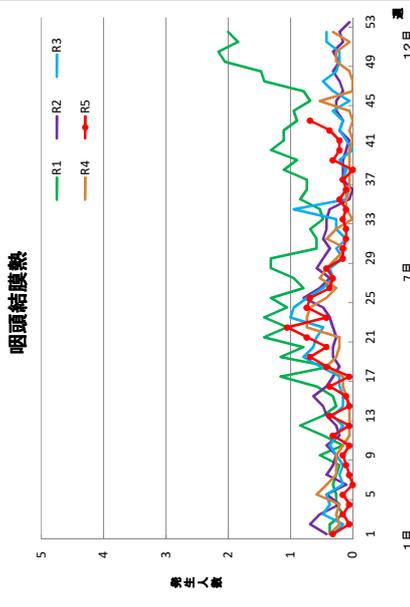
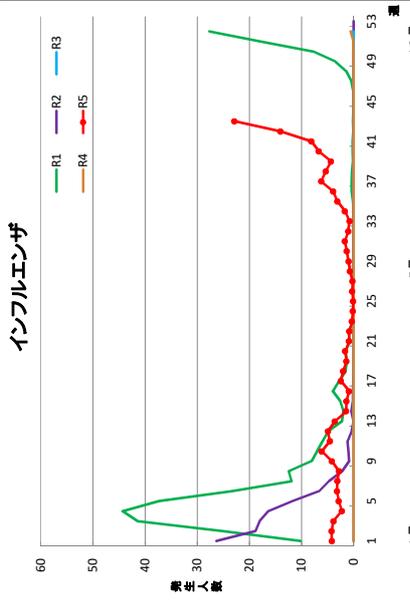
区 分	今回報告患者数 第40週～第43週(4週分)					前回報告患者数 第36週～第39週(4週分)				前々回報告患者数 第32週～第35週(4週分)				前回比 増 減	令和5年 患者数 累 計
	東部	中部	西部	計	増減	東部	中部	西部	計	東部	中部	西部	計		
インフルエンザ/COVID-19定点数	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
1 インフルエンザ	318	417	765	1,500	925	279	190	106	575	66	100	27	193	161%	4,255
2 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	154	78	205	437	-972	445	293	671	1,409	862	585	975	2,422	-69%	7,898
小児科定点数	(8)	(4)	(7)	(19)		(8)	(4)	(7)	(19)	(8)	(4)	(7)	(19)		
3 咽頭結膜熱	7	18	3	28	17	3	3	5	11	4	1	6	11	155%	223
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	282	103	134	519	210	202	51	56	309	138	12	58	208	68%	2,176
5 感染性胃腸炎	107	74	90	271	36	92	84	59	235	102	91	54	247	15%	5,027
6 水痘	6	1	2	9	-1	7	3	0	10	4	0	0	4	-10%	49
7 手足口病	43	44	43	130	-83	60	82	71	213	24	52	111	187	-39%	794
8 伝染性紅斑	1	0	0	1	-1	0	0	2	2	0	0	0	0	-50%	8
9 突発性発疹	0	6	5	11	0	4	0	7	11	3	1	5	9	0%	187
10 ヘルパンギーナ	2	13	13	28	-40	14	22	32	68	14	46	55	115	-59%	992
11 流行性耳下腺炎	1	1	0	2	-1	0	3	0	3	0	0	0	0	-33%	14
12 RSウイルス感染症	1	7	6	14	-37	23	22	6	51	35	58	35	128	-73%	917
眼科定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
13 急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	1
14 流行性角結膜炎	6	0	2	8	4	2	0	2	4	3	0	1	4	100%	29
基幹定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
15 細菌性髄膜炎	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	—	5
16 無菌性髄膜炎	2	0	1	3	3	0	0	0	0	1	0	0	1	—	8
17 マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0
18 クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0
19 感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	5
合 計	931	762	1,269	2,962	61	1,131	753	1,017	2,901	1,257	946	1,327	3,530	2%	22,588

注)新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、令和5年第19週からの報告件数。

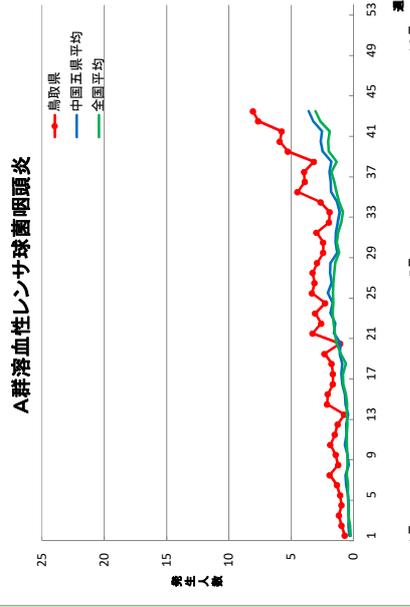
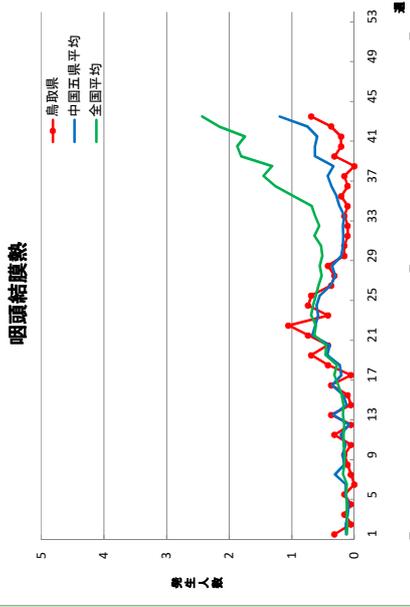
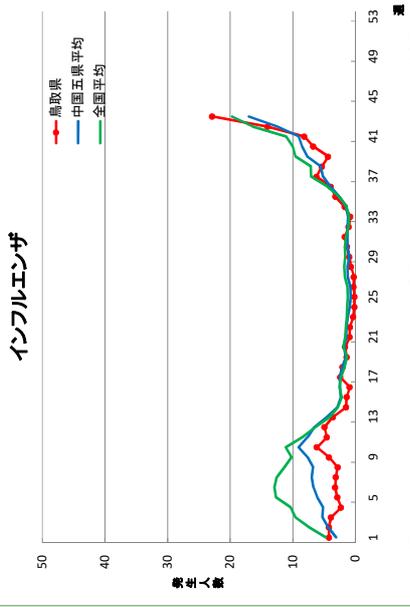
地区発生状況グラフ(定点当たり)



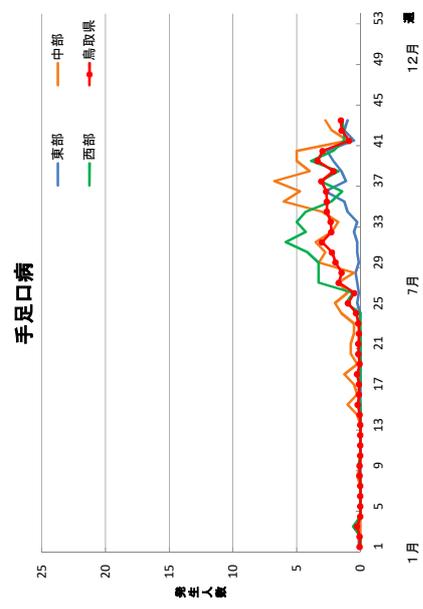
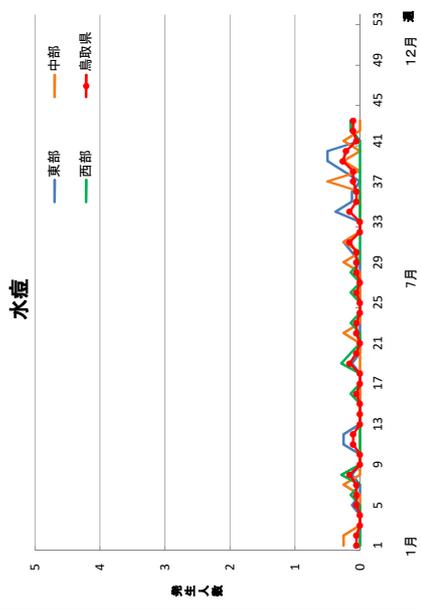
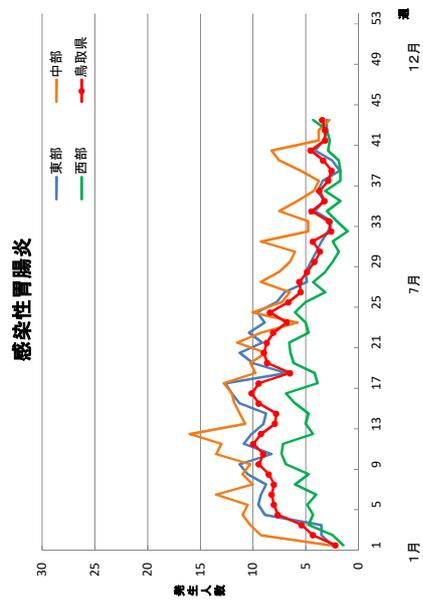
年次別発生状況グラフ(定点当たり)



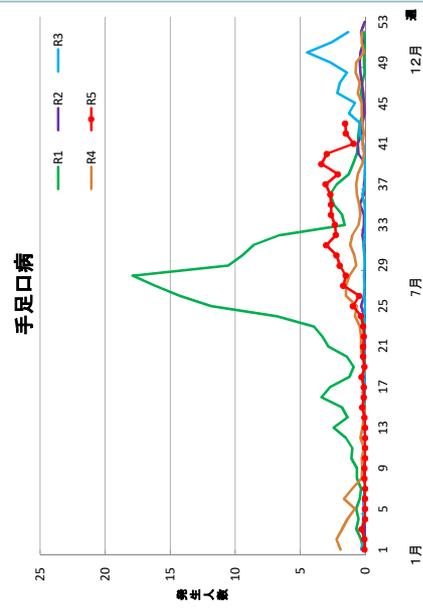
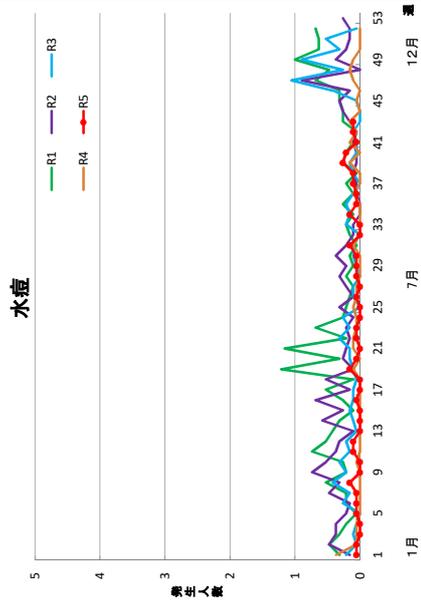
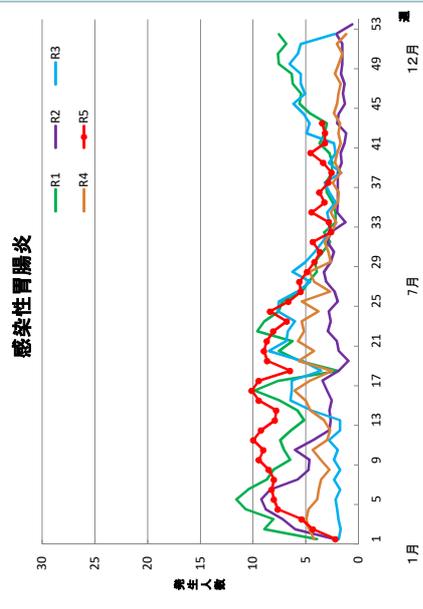
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



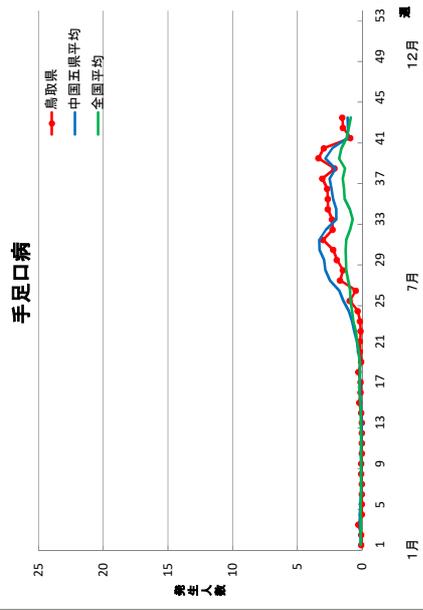
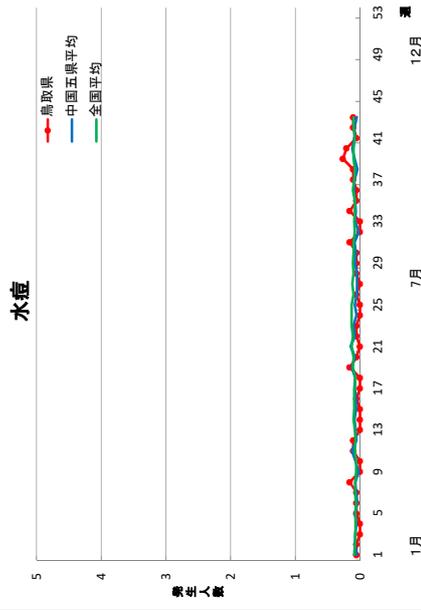
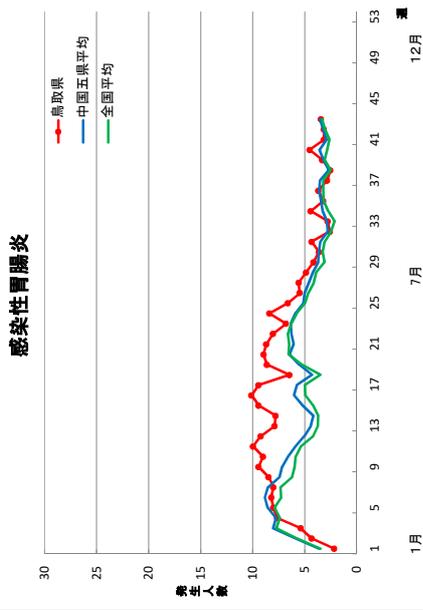
### 地区発生状況グラフ(定点当たり)



### 年次別発生状況グラフ(定点当たり)

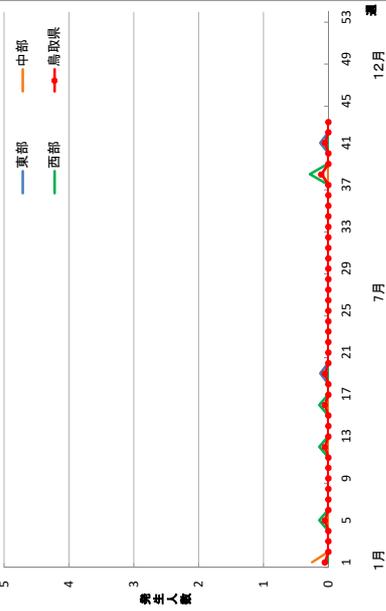


### 中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

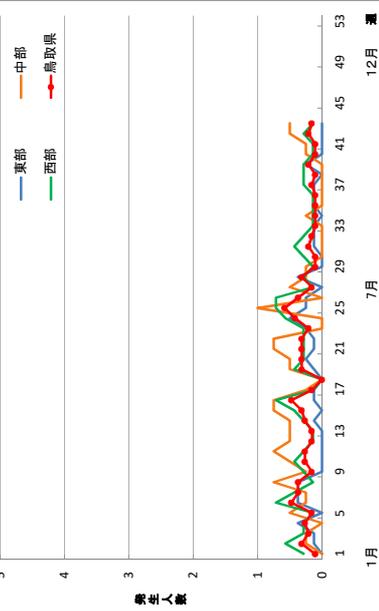


### 地区発生状況グラフ(定点当たり)

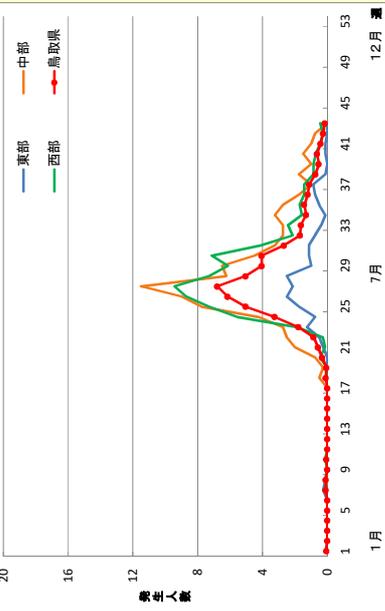
#### 伝染性紅斑



#### 突発性発疹

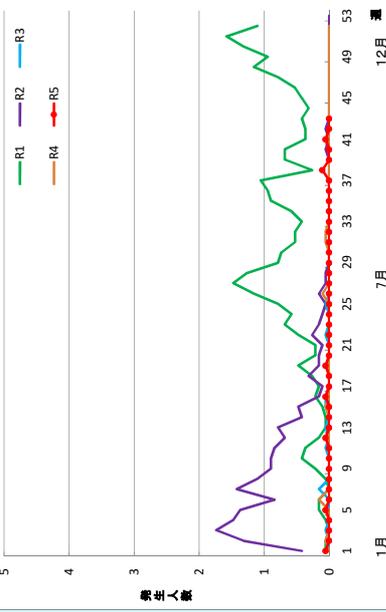


#### ヘルパンギーナ

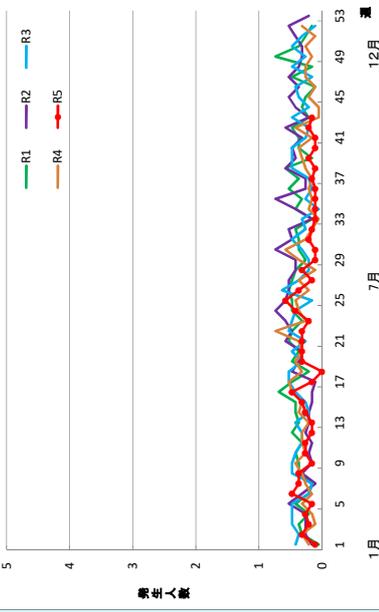


### 年次別発生状況グラフ(定点当たり)

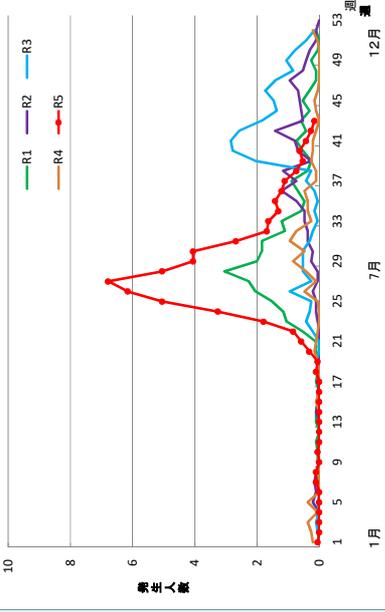
#### 伝染性紅斑



#### 突発性発疹

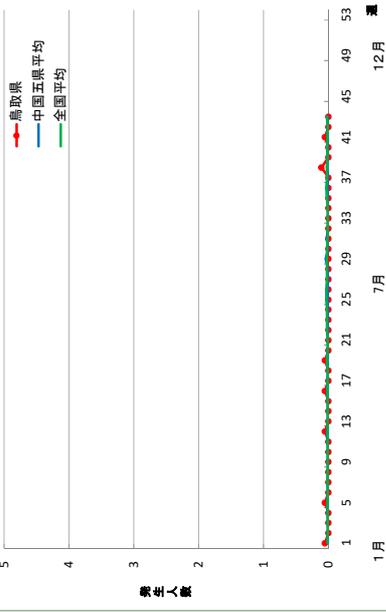


#### ヘルパンギーナ

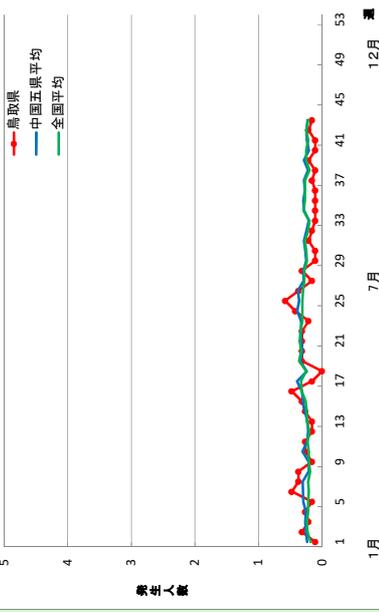


### 中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

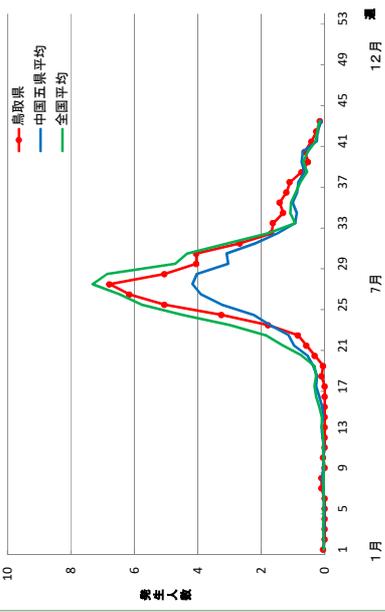
#### 伝染性紅斑



#### 突発性発疹

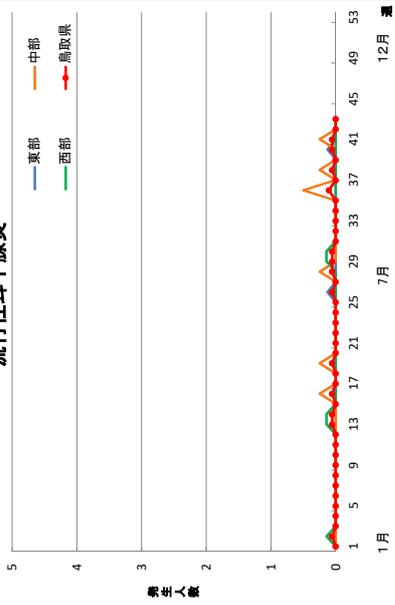


#### ヘルパンギーナ

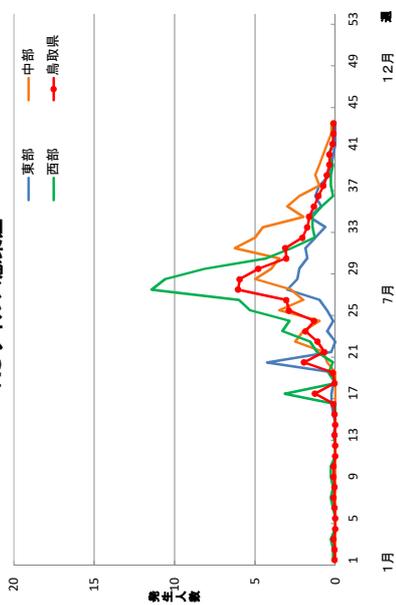


### 地区発生状況グラフ(定点当たり)

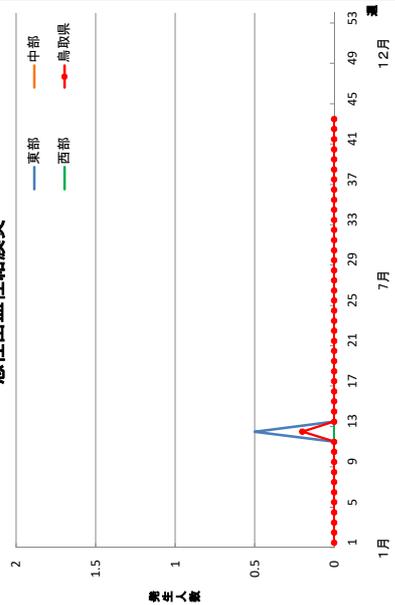
流行性耳下腺炎



RSウイルス感染症

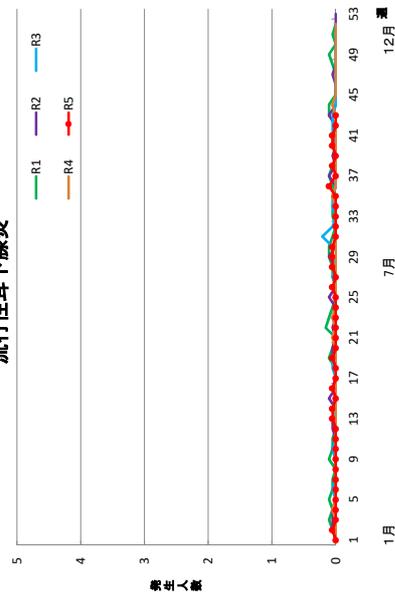


急性出血性結膜炎

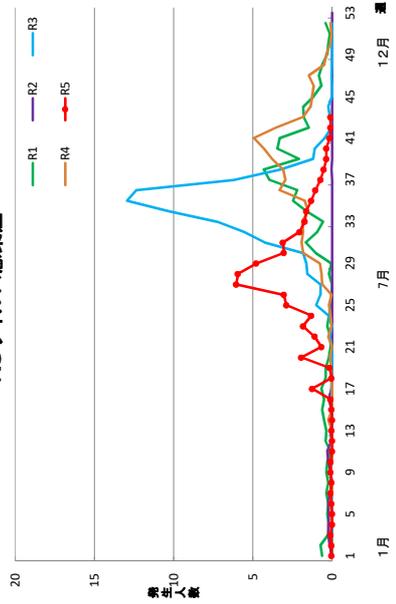


### 年次別発生状況グラフ(定点当たり)

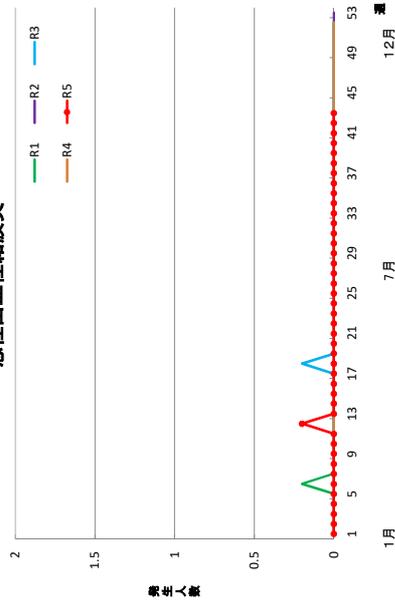
流行性耳下腺炎



RSウイルス感染症

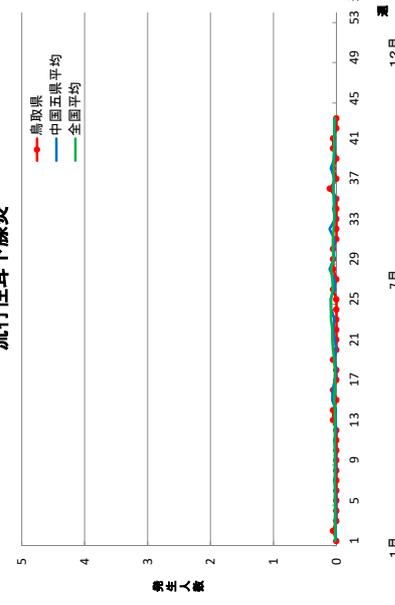


急性出血性結膜炎

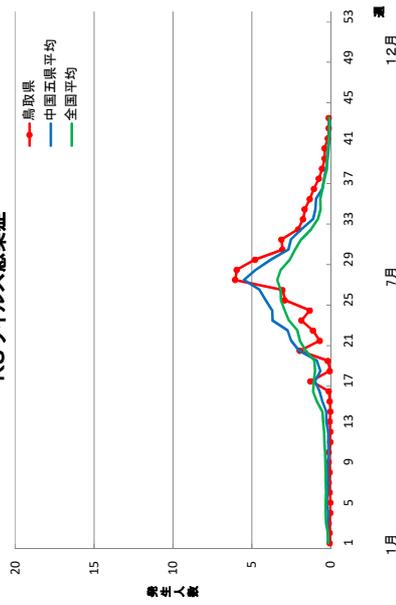


### 中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

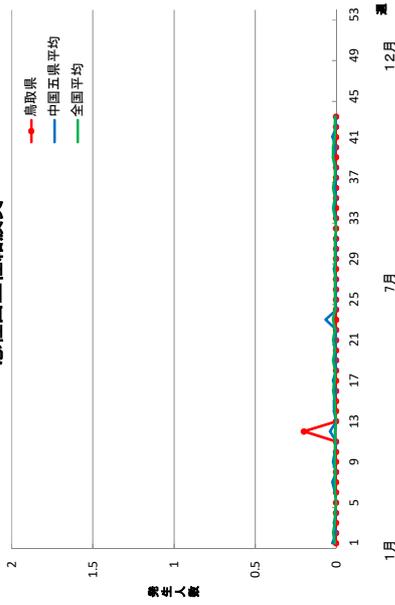
流行性耳下腺炎



RSウイルス感染症

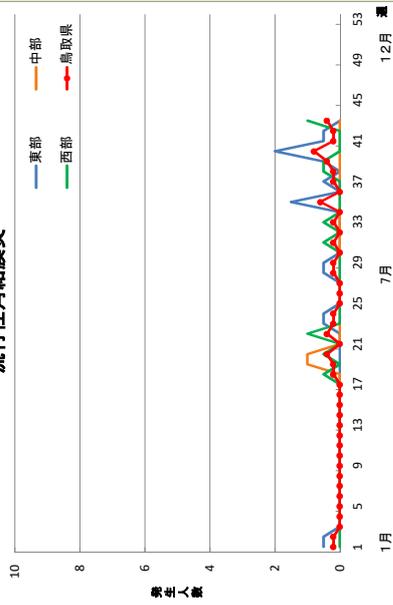


急性出血性結膜炎

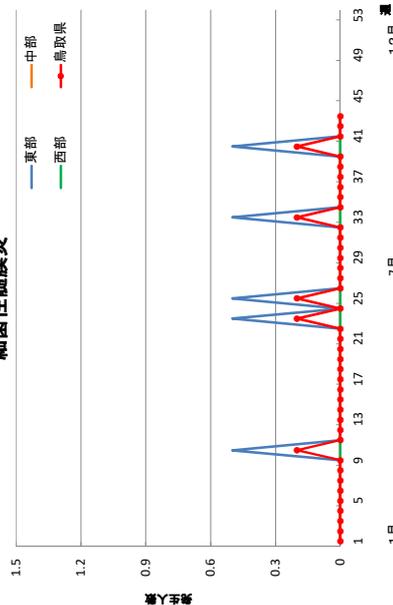


地区発生状況グラフ(定点当たり)

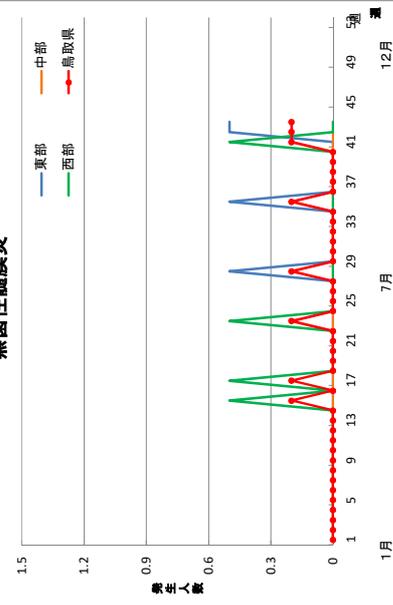
流行性角膜炎



細菌性髄膜炎

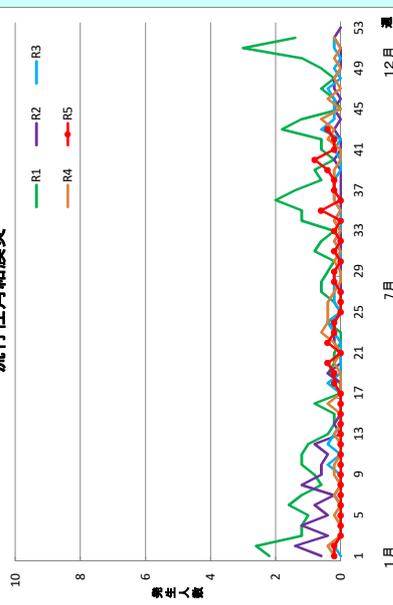


無菌性髄膜炎

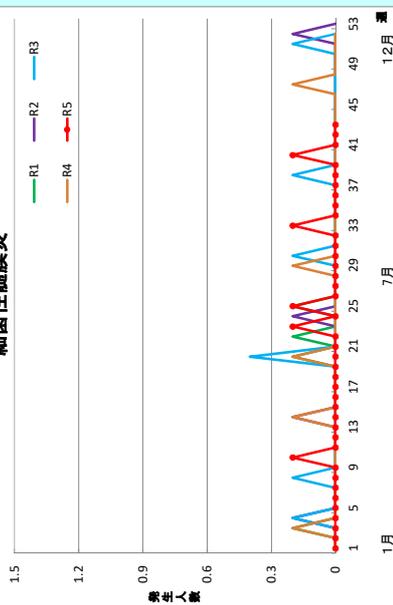


年次別発生状況グラフ(定点当たり)

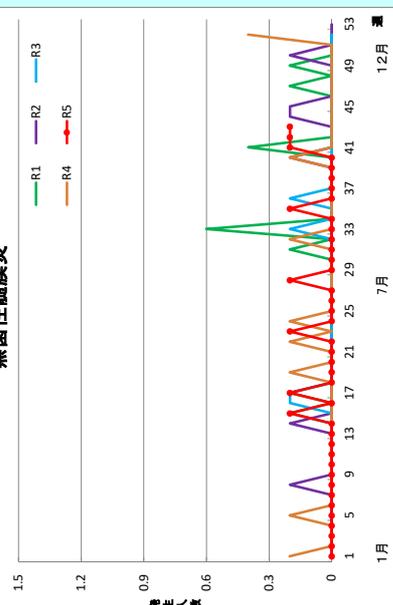
流行性角膜炎



細菌性髄膜炎

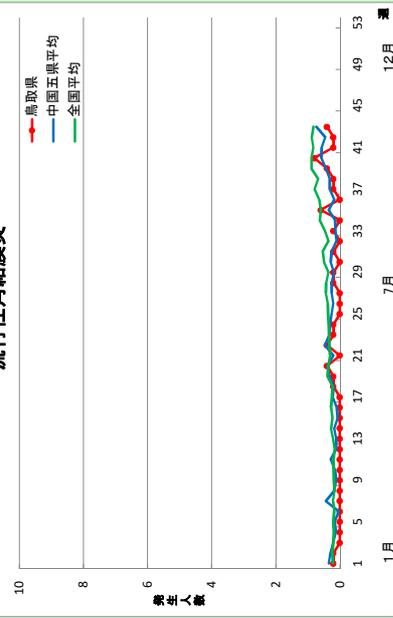


無菌性髄膜炎

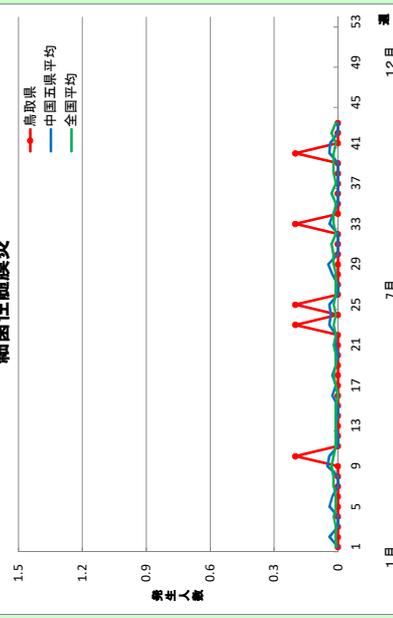


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

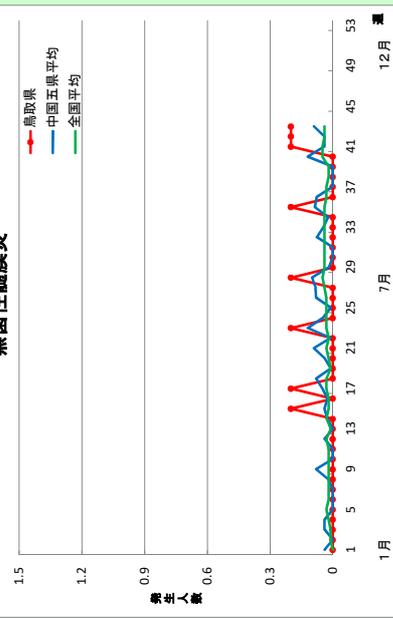
流行性角膜炎



細菌性髄膜炎

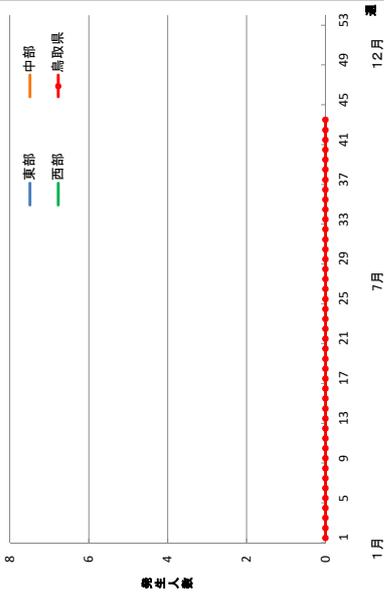


無菌性髄膜炎

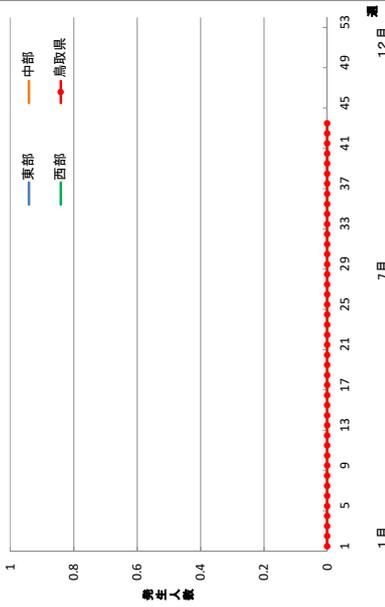


### 地区発生状況グラフ(定点当たり)

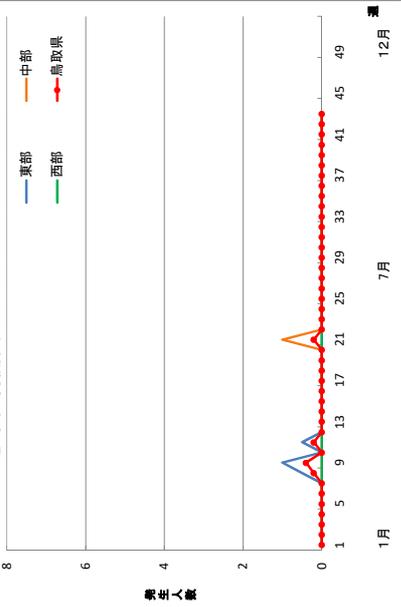
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム菌を除く)

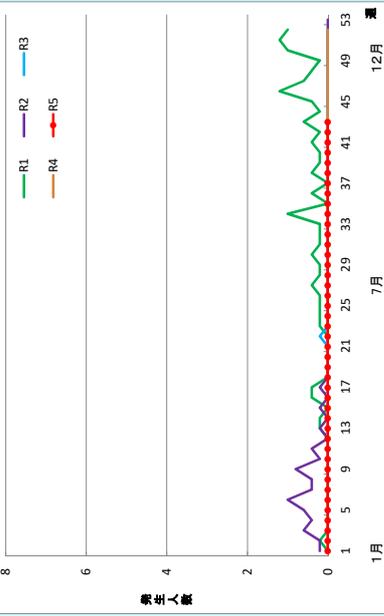


感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

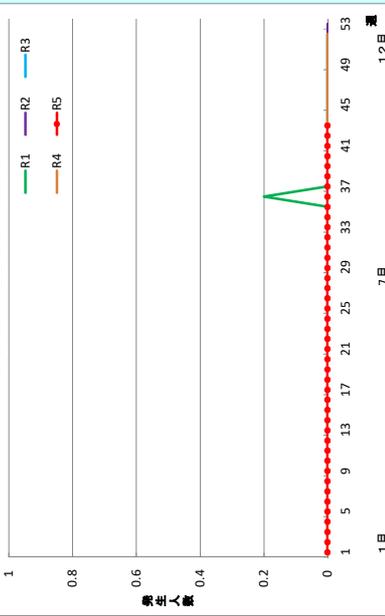


### 年次別発生状況グラフ(定点当たり)

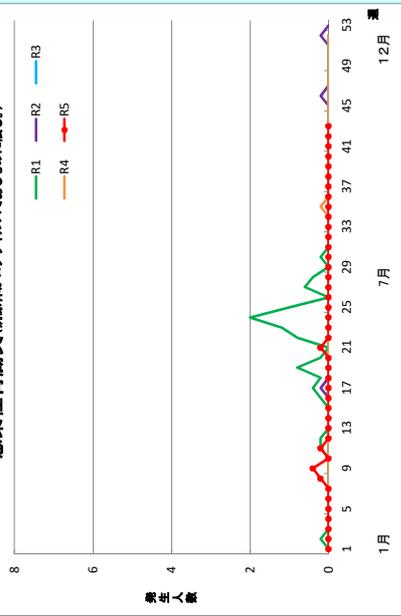
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム菌を除く)

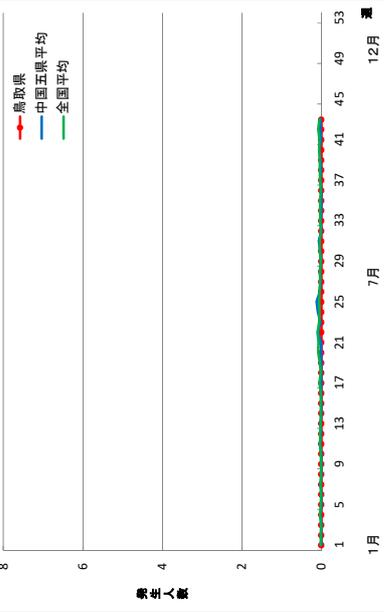


感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

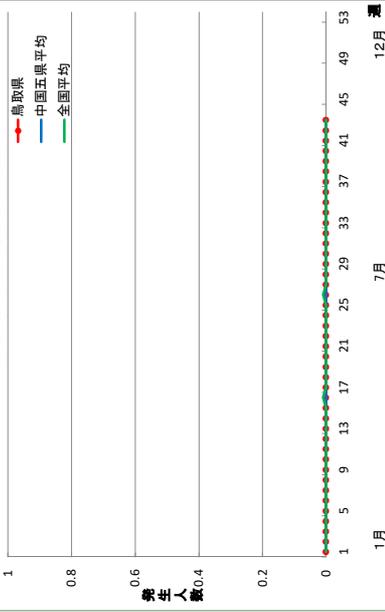


### 中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

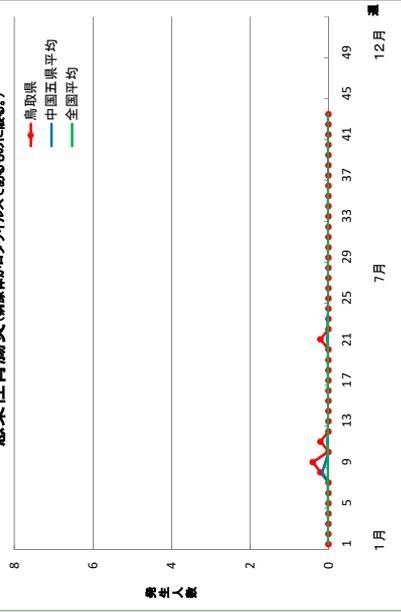
マイコプラズマ肺炎



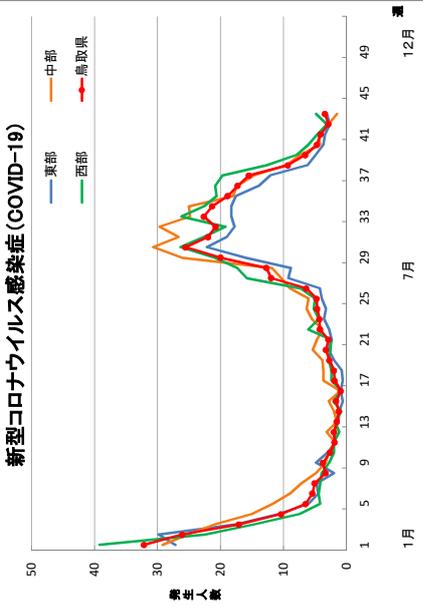
クラミジア肺炎(オウム菌を除く)



感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

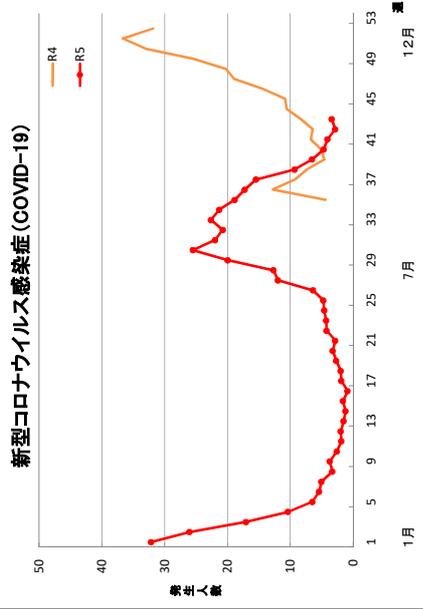


### 地区発生状況グラフ(定点当たり)

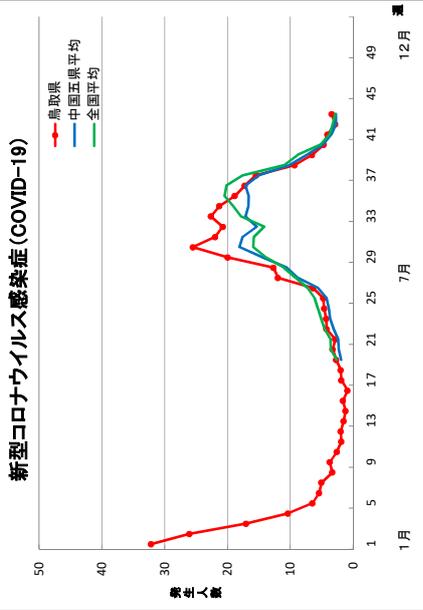


(注) 令和5年第18週(5/1~5/7)までは全数報告分のうち定点医療機関からの報告件数を元に算出。

### 年次別発生状況グラフ(定点当たり)

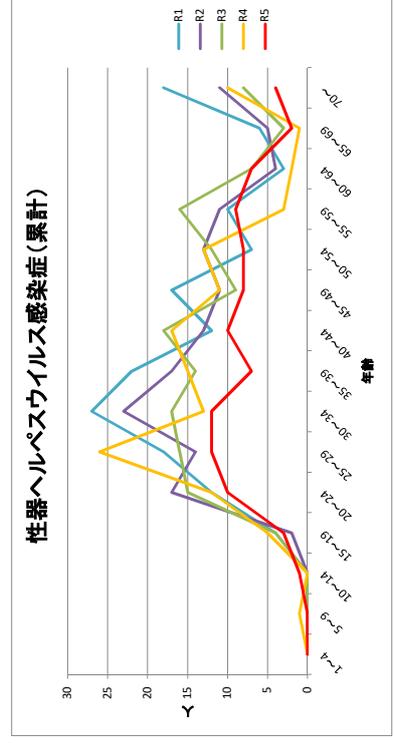
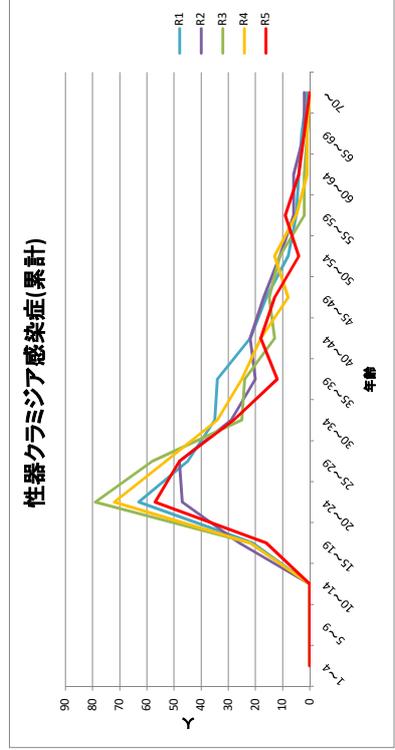
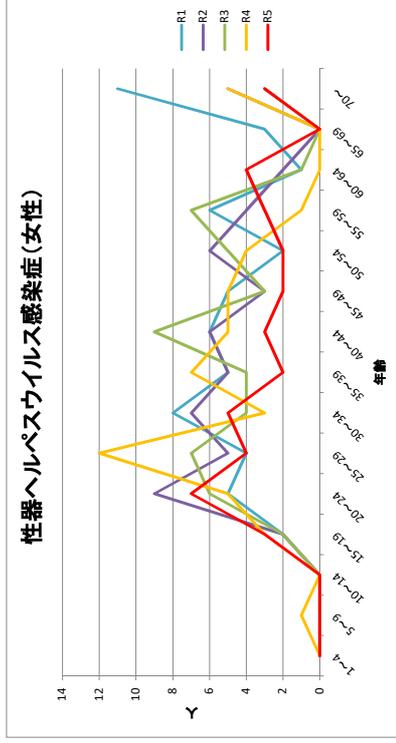
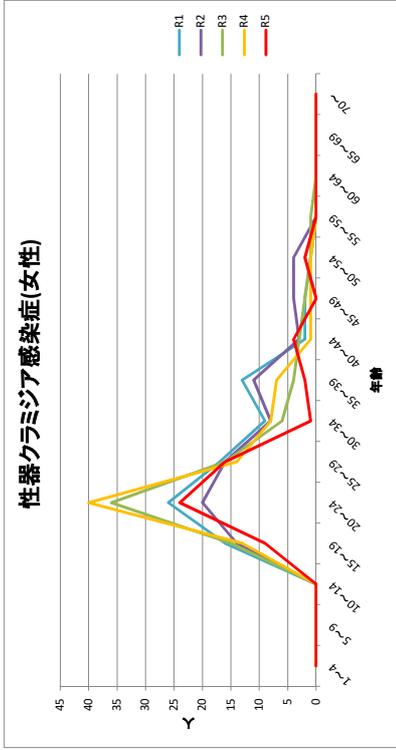
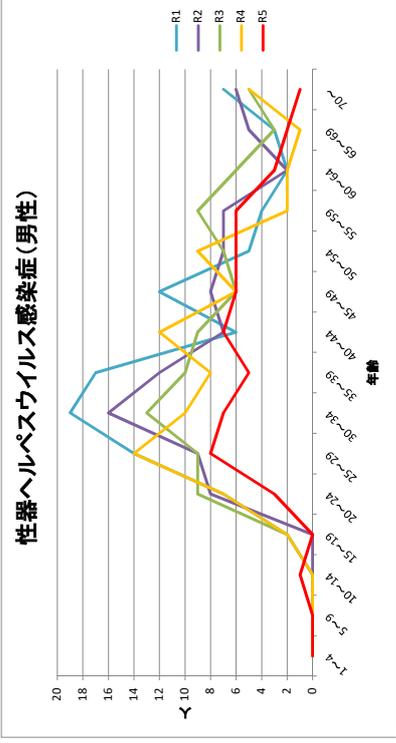
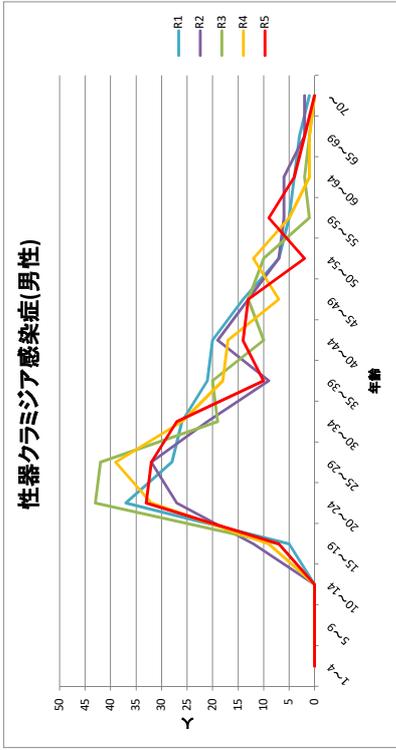


### 中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

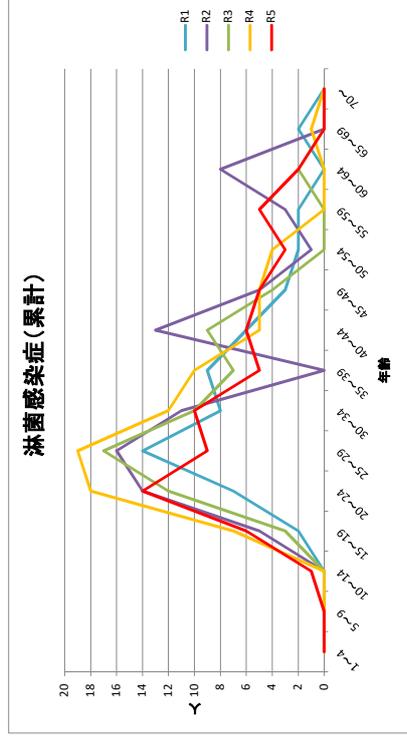
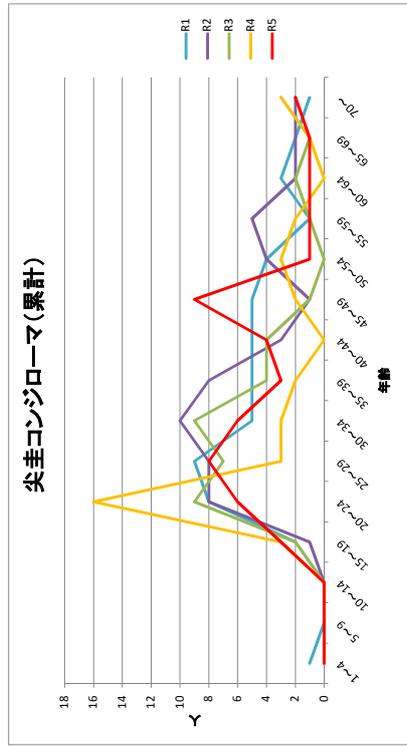
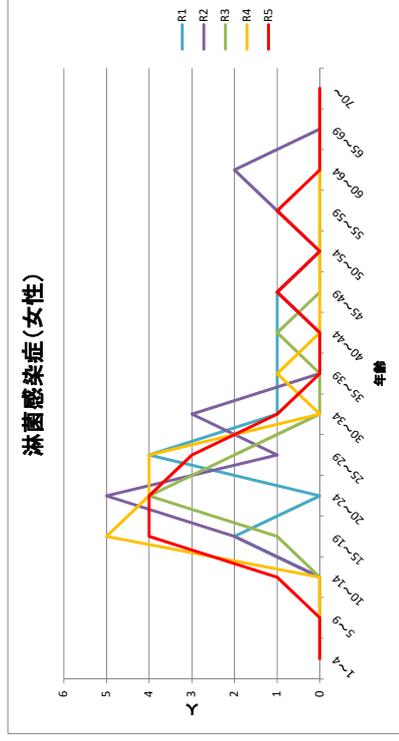
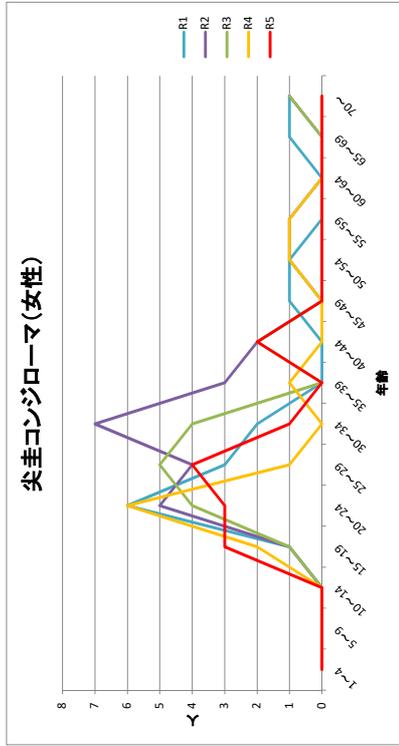
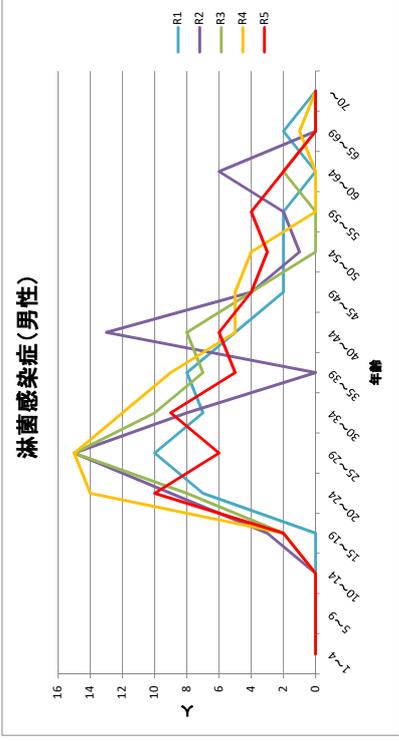
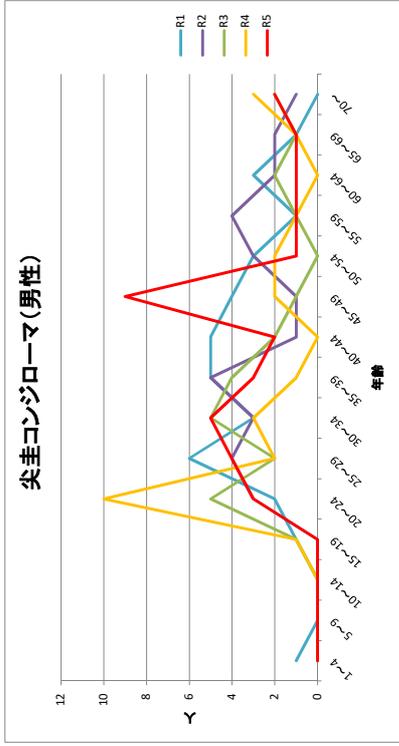




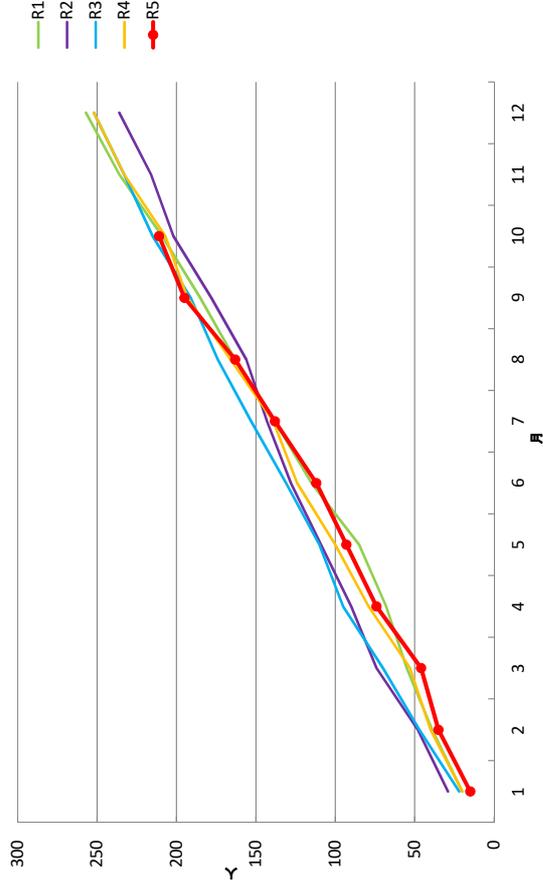
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



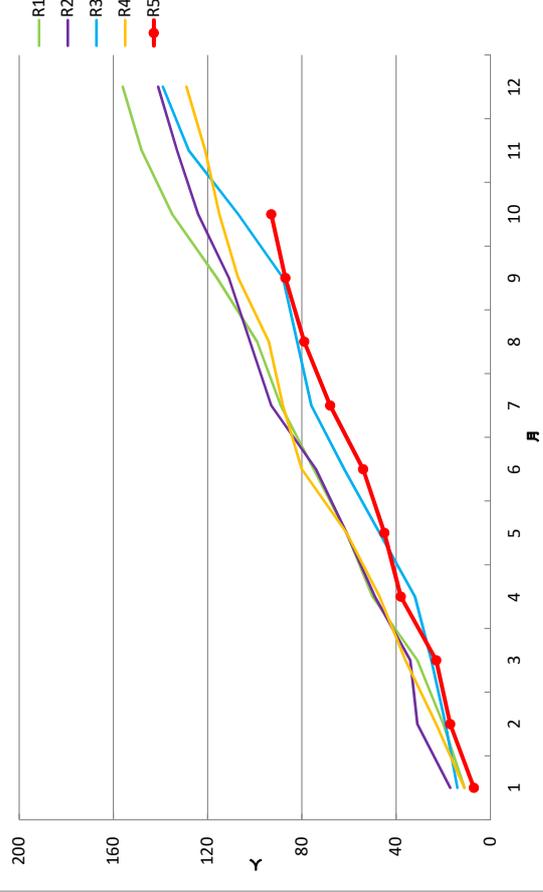
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



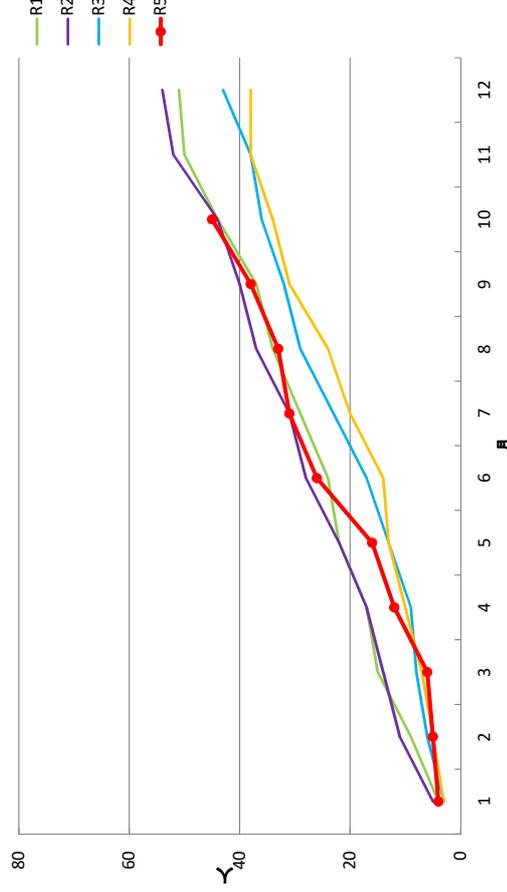
性器クラミジア感染症報告状況(累計)



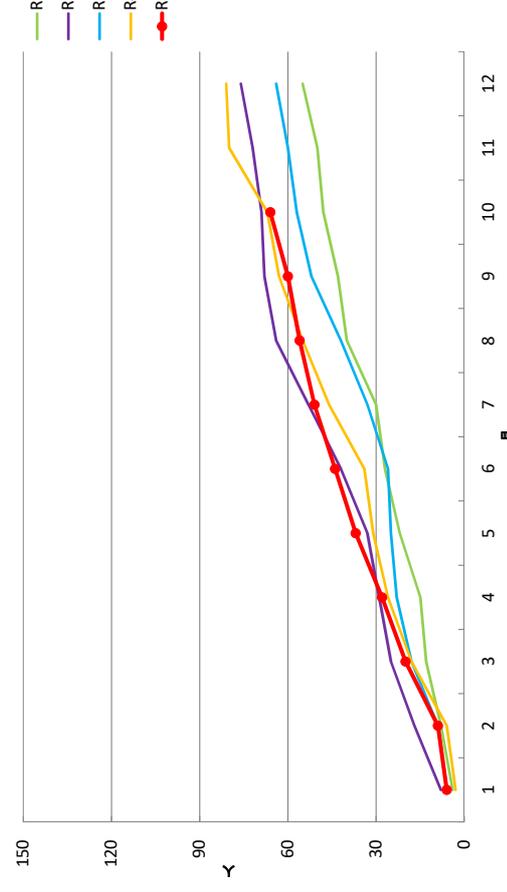
性器ヘルペスウイルス感染症報告状況(累計)



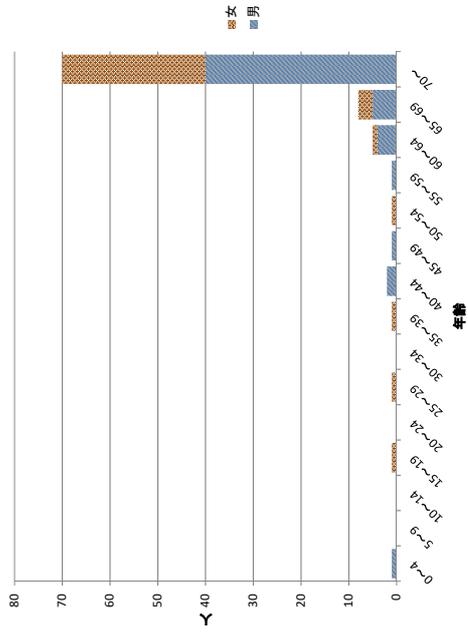
尖圭コンジローマ報告状況(累計)



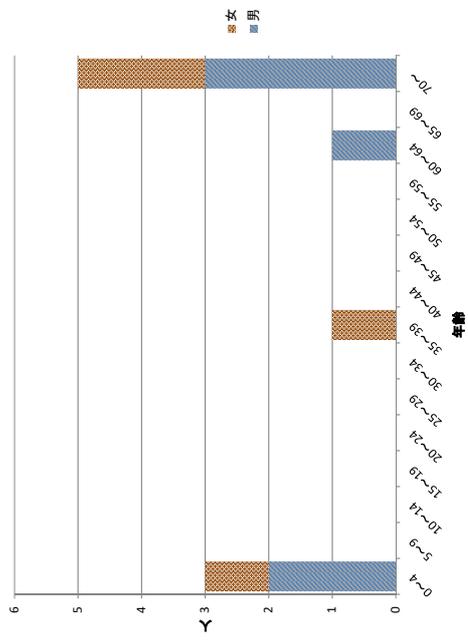
淋菌感染症報告状況(累計)



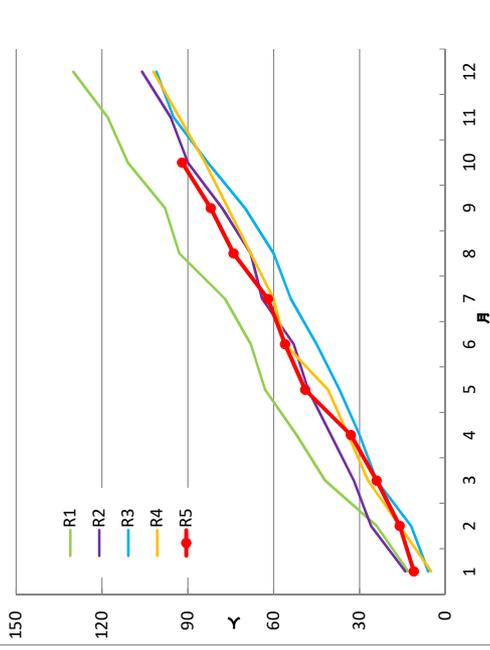
令和5年 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症  
(年齢別累計)



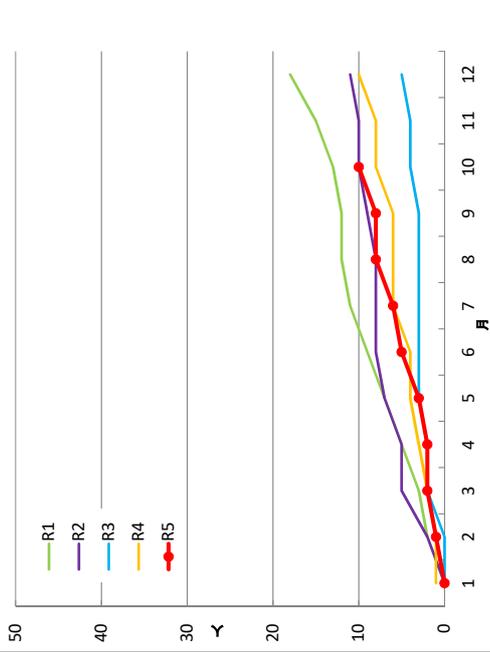
令和5年 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症  
(年齢別累計)



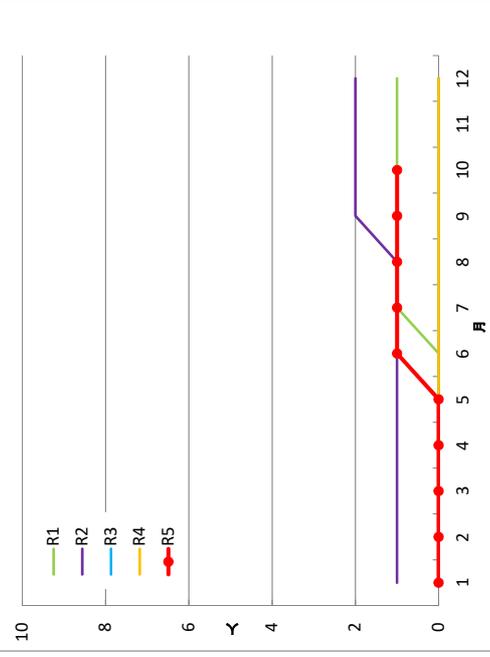
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症報告状況(累計)



ペニシリン耐性肺炎球菌感染症報告状況(累計)



薬剤耐性緑膿菌感染症報告状況(累計)



# 鳥取県における感染症発生状況(全数報告分・令和5年)

令和5年10月31日 現在  
※( )は前年数値

## (1)2類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													10月時点	年間	
急性灰白髄炎													0	(0)	(0)
結核	1 (8)	2 (11)	5 (3)	2 (5)	5 (4)	2 (6)	4 (1)	5 (3)	5 (5)	3 (6)	(2)	(3)	34	(52)	(57)
潜在性結核 ※再掲	(2)	(5)	2 (2)	(1)	1		(1)	2 (3)	1 (1)	(2)		(1)	6	(17)	(18)
疑似症患者 ※再掲													0	(0)	(0)
ジフテリア													0	(0)	(0)
重症急性呼吸器症候群													0	(0)	(0)
中東呼吸器症候群													0	(0)	(0)
鳥インフルエンザ(H5N1)													0	(0)	(0)
鳥インフルエンザ(H7N9)													0	(0)	(0)

## (2)3類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計			
													10月時点	年間		
コレラ													0	(0)	(0)	
疑似症 ※再掲													0	(0)	(0)	
細菌性赤痢													0	(0)	(0)	
腸管出血性大腸菌感染症			(2)			1 (1)	(2)	5 (3)	9	2		(3)	(3)	17	(8)	(14)
腸チフス													0	(0)	(0)	
パラチフス													0	(0)	(0)	

## (3)4類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													10月時点	年間	
マラリア											(1)		0	(1)	(1)
E型肝炎							1						1	(0)	(0)
A型肝炎													0	(0)	(0)
つつが虫病	(1)			1	(1)								1	(2)	(2)
日本紅斑熱				(1)	1	(3)			1 (2)	(2)	(1)		2	(8)	(9)
重症熱性血小板減少症候群			1						1 (1)				2	(1)	(1)
レジオネラ症	1	(2)	(1)	1	2 (2)	2 (1)	1	(3)	1 (3)	1 (1)			9	(13)	(13)
レプトスピラ症													0	(0)	(0)
デング熱					1								1	(0)	(0)
チクングニア熱													0	(0)	(0)

## (4)5類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													10月時点	年間	
アเมอร์バ赤痢			1		(1)	1				1			3	(1)	(1)
ウイルス性肝炎(E型・A型肝炎を除く)				1									1	(0)	(0)
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)				1									1	(0)	(0)
急性脳炎(ウエストナイル脳炎及び日本脳炎等を除く)	1 (1)	(1)			2	(1)		1					4	(3)	(3)
クリプトスポリジウム症		1											1	(0)	(0)
クロイツフェルト・ヤコブ病													0	(0)	(0)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1				1 (1)	1 (1)	1	1		(1)		5	(3)	(3)
後天性免疫不全症候群			2		1							(1)	3	(0)	(1)
無症候性キャリア ※再掲			1		1								2	(0)	(0)
AIDS ※再掲			1										1	(0)	(0)
侵襲性インフルエンザ菌感染症							2			1 (1)	(1)	(1)	3	(1)	(3)
侵襲性髄膜炎菌感染症													0	(0)	(0)
侵襲性肺炎球菌感染症	1 (1)	1	1 (1)	(2)		2 (1)	2	(2)	(1)	1 (1)	(1)		8	(9)	(10)
水痘(入院例に限る。)				(1)				1					1	(1)	(1)
梅毒	1	6 (3)	1 (1)	4 (3)	3 (1)	4	1 (3)	1	4 (1)	1	(2)	(1)	26	(12)	(15)
播種性クリプトコックス症			2			(1)					(1)		2	(1)	(2)
破傷風													0	(0)	(0)
薬剤耐性アシネトバクター感染症													0	(0)	(0)
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		2	1	(1)	(1)					1	(1)		4	(2)	(3)
ジアルジア症			(1)										0	(1)	(1)
百日咳				1	1 (1)	1	(1)				(1)		3	(3)	(3)
麻疹						1							1	(0)	(0)
風しん													0	(0)	(0)

## (5)新型コロナウイルス感染症(5/8以降定点把握)

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月(R5は7日まで)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													5月7日時点	10月時点	年間
新型コロナウイルス感染症	22,907(2063)	4,687(3097)	2,336(2588)	1,483(2912)	464(2877)	(1440)	(12396)	(25646)	(8376)	(5882)	(13300)	(29552)	31,877	(67277)	(110429)

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況

① 月別件数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													10月時点	年間	
令和5年						1		5	9 (3)	2 (2)				17 (5)	17 (5)
令和4年		2 (2)				1	2	3			3 (1)	3		8 (2)	14 (3)
令和3年	1		3 (2)	1 (1)	2 (1)	2 (1)	1 (1)							10 (6)	10 (6)
令和2年			1		2 (1)	7 (1)	2	3 (2)	7 (4)	3 (1)		1		22 (9)	26 (9)
令和元年		1	1		6 (1)	1	2	4 (1)		3 (2)	4	2 (2)		15 (4)	24 (6)
平成30年					3	1	4 (2)	9	4	1				21 (2)	22 (2)
平成29年	1 (1)			1	1 (1)	7 (3)	5 (2)	1			4 (3)	1 (1)		16 (7)	21 (11)
平成28年						5 (4)	3 (1)	6 (1)	1			1 (1)		15 (6)	16 (7)
平成27年						3 (2)	33 (23)	12 (7)	10 (6)	1 (1)	1			58 (39)	60 (39)
平成26年						7 (4)	1	1	1	5 (3)				10 (7)	15 (7)
平成25年		1 (1)			1		6	7 (3)	4 (1)	7 (2)				19 (7)	26 (7)
平成24年						2	1	5 (1)		6 (2)		1		8 (3)	15 (3)
平成23年				1	5 (2)	3 (2)		2 (1)	3 (1)	4 (2)	1	1		14 (8)	20 (8)

② 血清型別件数

区分	O8	O26	O29	O91	O103	O119	O111	O121	O125	O128	O145	O146	O157	型不明	計
令和5年		1 (1)											16 (4)		17 (5)
令和4年					3							2 (2)	8	1 (1)	14 (3)
令和3年					4 (2)							1 (1)	3 (1)	2 (2)	10 (6)
令和2年	1	4 (2)	1		4 (2)		3 (1)		1 (1)	1		1 (1)	7	3 (2)	26 (9)
令和元年					3 (1)		4 (1)						15 (2)	2 (2)	24 (6)
平成30年		2			3						1		16 (2)		22 (2)
平成29年		1			2 (1)		4 (3)					1 (1)	10 (3)	3 (3)	21 (11)
平成28年		1 (1)											14 (5)	1 (1)	16 (7)
平成27年		40 (28)		1	4 (2)		1					1 (1)	9 (4)	4 (4)	60 (39)
平成26年		7 (4)					5 (3)						3		15 (7)
平成25年		3 (1)						1					21 (5)	1 (1)	26 (7)
平成24年													15 (3)		15 (3)
平成23年		9 (4)			2 (1)								7 (2)	2 (1)	20 (8)

③ 年齢別件数

区分	～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
令和5年	1	2 (1)	1	1	4 (1)	2 (1)	3 (2)	2			1	17 (5)
令和4年	5	1	2	1	1	2 (1)				2 (2)		14 (3)
令和3年	1		1 (1)		1 (1)			1 (1)	1 (1)	3 (2)	2	10 (6)
令和2年	7	2	2	2	1 (1)	4 (4)	3 (1)	3 (3)			2	26 (9)
令和元年	9 (2)	2			4 (2)	2		1 (1)	3 (1)	3		24 (6)
平成30年	2	2			10 (1)	3 (1)	1	2	1		1	22 (2)
平成29年	3 (1)	1	2 (1)	2 (1)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	4 (3)	4 (1)		1	21 (11)
平成28年	4	4 (3)		1	2 (1)	3 (2)	1 (1)				1	16 (7)
平成27年	22 (13)	18 (12)	2 (1)	2 (2)	4 (4)	6 (3)	1 (1)	3 (2)			2 (1)	60 (39)
平成26年	6 (1)	3 (1)				2 (2)	2 (2)	1		1 (1)		15 (7)
平成25年	6	2	3 (1)	1	3 (1)	1	2 (1)	1 (1)	2 (1)	3 (1)	2 (1)	26 (7)
平成24年	3	3 (1)	3	1	2	2 (2)			1			15 (3)
平成23年	4 (1)	5			3 (1)	3 (2)		1 (1)	2 (2)	1	1 (1)	20 (8)

④ 地区別件数

区分	東部地区	中部地区	西部地区	計	
令和5年	2	7 (1)	8 (4)	17 (5)	
令和4年	5	(1)	6	3 (2)	14 (3)
令和3年	4	(2)	3 (2)	3 (2)	10 (6)
令和2年	3		15 (5)	8 (4)	26 (9)
令和元年	6	(2)	14 (3)	4 (1)	24 (6)
平成30年	7		5	10 (2)	22 (2)
平成29年	1		8 (4)	12 (7)	21 (11)
平成28年	2	(1)	12 (5)	2 (1)	16 (7)
平成27年	4	(4)	45 (31)	11 (4)	60 (39)
平成26年	1		8 (4)	6 (3)	15 (7)
平成25年	4	(1)	9 (3)	13 (3)	26 (7)
平成24年	7	(2)	1	7 (1)	15 (3)
平成23年			2 (1)	18 (7)	20 (8)

# 鳥取県病原微生物検出情報

(令和5年10月検出分；検体採取 令和5年9月～10月)

令和5年11月17日  
鳥取県衛生環境研究所

## 1 インフルエンザ

臨床診断名がインフルエンザの検体5件（検体採取10月上旬から10月下旬）について検査を実施したところ、インフルエンザAH3型が4件検出され、残り1件からインフルエンザウイルスは検出されなかった。（詳細は表1のとおり）

表1 2023/2024 シーズン鳥取県インフルエンザ検出情報

検体採取時期		検体採取場所	検出数	A型別、B系統別				備考
年	月日			A(H1N1)pdm09型	A H3型	B victoria	B 山形	
2023	9月11日	西部	1	1	0	0	0	
	10月6日	西部	4	0	4	0	0	
病原体定点PCR検査合計 (2023/9/4～現在)			5	1	4	0	0	

全国のインフルエンザ患者から分離・検出されたウイルスについては、国立感染症研究所の病原微生物検出情報（11月6日作成）によると、2023/24シーズンはAH3型が最も多く検出されている。なお、2022/23シーズンもAH3型が最も多く報告されている。（図1、図2）

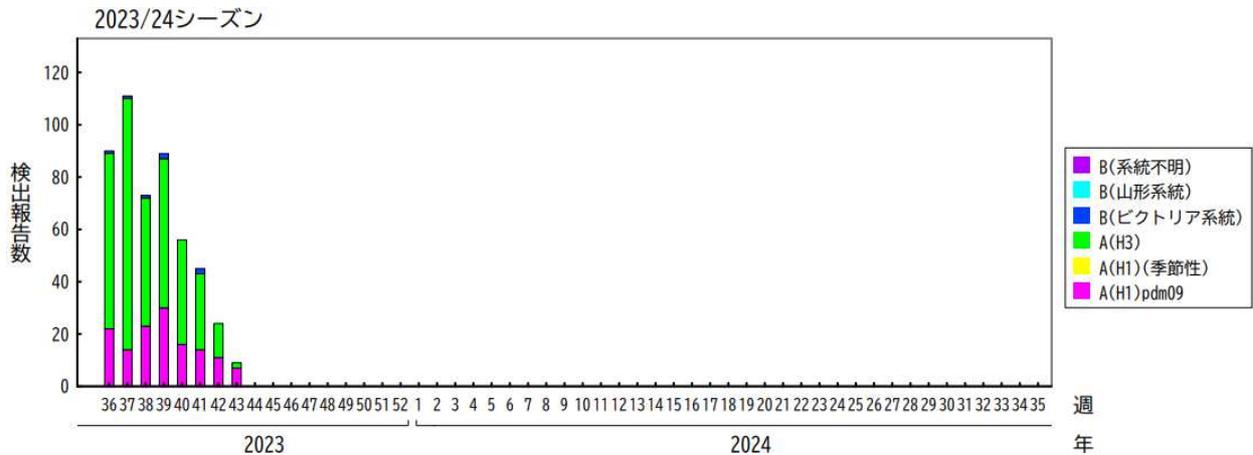


図1 週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数（2023/24シーズン）

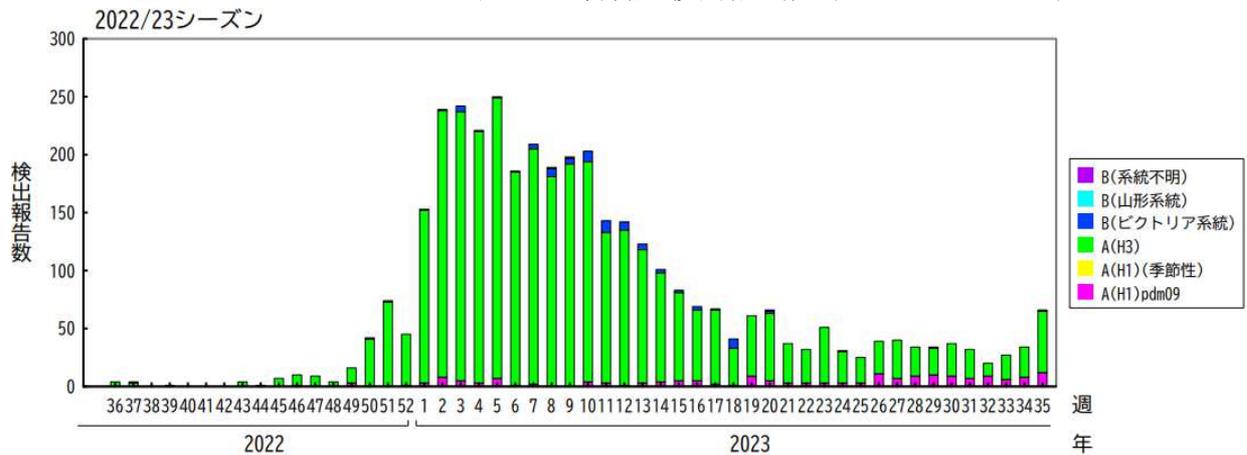


図2 週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数（2022/23シーズン）

## 2 流行性角結膜炎

臨床診断名が流行性角結膜炎の検体4件(検体採取9月中旬～10月上旬(検体番号230044、230048、230049、230050))について検査を実施したところ、アデノウイルスが3件検出された。検出されたアデノウイルスはアデノウイルス56型が2件、アデノウイルス3型が1件であった。残り1件からアデノウイルスは検出されなかった。

国立感染症研究所の病原微生物検出情報(11月6日作成)によると、2023年における全国の流行性角結膜炎患者から分離・検出されたウイルスについては、アデノウイルス37型が最も多く、次いでアデノウイルス56型が報告されている。(図3)

\*各都道府県市の地方衛生研究所等からの分離/検出報告を図に示した

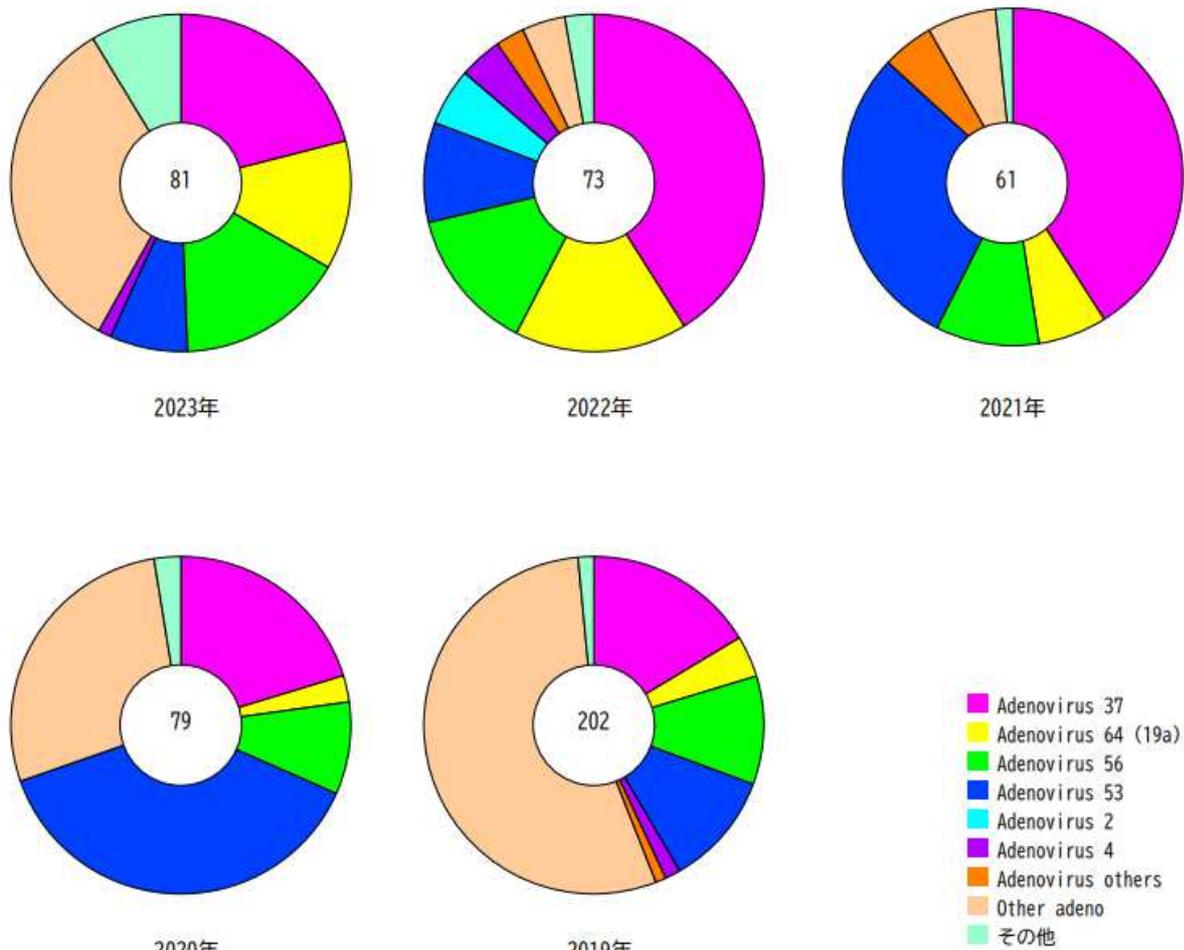


図3 流行性角結膜炎患者から分離・検出されたウイルス(2019年～2023年)

※円グラフの中の数字は年ごとの分離・検出報告の総数

### 3 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の検体2件について検査を行ったところ、アデノウイルス3型が1件、エンテロウイルス（型別不明）が1件検出された。（詳細は表2のとおり）

表2 感染性胃腸炎検査状況

検体番号	検体採取時期	ノロウイルス	サポウイルス	A群ロタウイルス	C群ロタウイルス	アデノウイルス	アストロウイルス	エンテロウイルス
230046	9月中旬	(-)	(-)	(-)	(-)	アデノ3型	(-)	(-)
230047	9月中旬	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	検出 エンテロウイルス型不明
検出計		0件	0件	0件	0件	1件	0件	1件

(-) : 未検出

### 4 ヘルパンギーナ

臨床診断名がヘルパンギーナの検体1件（検体採取9月上旬（検体番号230043））について検査を実施したところ、エンテロウイルスが検出された。検出されたエンテロウイルスは、型別不明であった。

### 5 手足口病

臨床診断名が手足口病の検体1件（検体採取9月中旬（検体番号230045））について検査を実施したところ、エンテロウイルスが検出された。検出されたエンテロウイルスについては、型別不明であった。

月別ウイルス等分離・検出状況（令和5年10月）

令和5年11月17日現在

ウイルスの種類		令和5年												計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
エンテロ	エンテロウイルス 型不明							2	2	3					7
	コクサッキーA 2型					2		1							3
	コクサッキーA 4型							1							1
	コクサッキーA 5型														0
	コクサッキーA 6型														0
	コクサッキーA 10型														0
	コクサッキーA 16型														0
	コクサッキーB 5型					1	4	1							6
	エコー 5型														0
	エコー 6型														0
	エコー 11型														0
	エコー 18型														0
	エンテロウイルス A71型								1						1
	その他のエンテロウイルス														0
ライノ														0	
インフルエンザ	インフルエンザAH3型						1	1	1		4				7
	インフルエンザA(H1N1)pdm09				1					1					2
	インフルエンザB型ビクトリア系統														0
	インフルエンザB型山形系統														0
ムンプス														0	
RS	RS-A														0
	RS-B														0
	A群ロタ					1									1
	C群ロタ					1									1
	アストロ					3	2								5
ノロ	ノロ GI型														0
	ノロ GII型				3	1									4
	サポ					2									2
アデノ	アデノ 型不明					1			1						2
	アデノ 1型														0
	アデノ 2型						1	2							3
	アデノ 3型									2					2
	アデノ 4型														0
	アデノ 5型					1									1
	アデノ 7型														0
	アデノ 8型														0
	アデノ 40/41型														0
	アデノ 54型					1									1
	アデノ 56型									2					2
アデノ 64型														0	
	ヘルペス 3														0
	ヘルペス 4							1							0
	ヘルペス 5														0
	ヘルペス 6							1							0
	ヘルペス 7				1			2							3
	パルボウイルスB19														0
	A群レンサ球菌														0
	黄色ブドウ球菌				1			1							2